



広島もみじまんじゅうラウンド



九州体育・保健体育ネットワーク研究会

H29.9.23(土) 安田女子大学

“カープ V2” の興奮冷めやらぬ広島において、「もみじまんじゅうラウンド」を開催いたしました。今年度は、東北や九州、そして、県内各地域から 33 名の方にご参加いただきました。会の冒頭のご挨拶では、徳永先生が燃える赤い T シャツで登場！チームの団結が強さの秘訣であるとともに、ベテランと若手の融合により、強固な組織がつけられるお話がありました。「チーム体育・保健体育」も、これからの授業づくりがどうあるべきか、参加者みなさんで一体となって、熱く学び合いました。

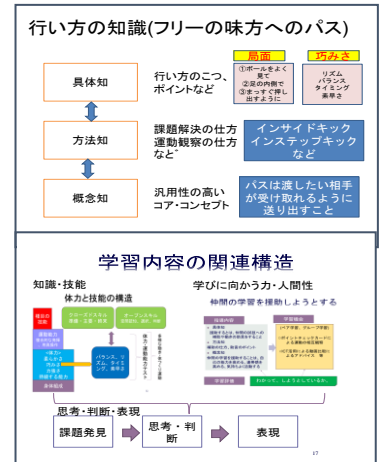


1 話題提供：「新学習指導要領とこれからの体育・保健体育授業の在り方～体育科・保健体育科における主体的・対話的で深い学びとは～」

佐藤先生より、改訂の経緯、そして新学習指導要領の趣旨や内容等を含め、これからの体育・保健体育の授業づくりについて、大切な視点についてお話をいただきました。

小学校においては、より「わかってできる」姿が求められており、知識と技能とをセットで考えていくこと、そのために押さえておくことよい事項として、「体力と技能の構造」や「知識の構造化」についての説明がありました。

授業場面における教師の言葉かけや、子供たちへの行い方の提示など、知識の整理をしておくことにより、何を教えるかが明確になります。一例として、佐藤先生からはボール運動の「フリーの味方へのパス」を例に説明していただきました。「わかるとできるをつなぐ知識」として、「具体知」「方法知」「概念知」の三つの段階で捉えた整理を試みているというお話でしたが、発達の段階に合わせて、知識の構造を理解することは、子供たちの深い学びにもつながっていく大事な視点になっていくのではないかと感じました。また、「学びに向かう力・人間性」の指導内容に関わっても、構造化を図り、その指導内容に適した学習場面をどうセットしていくかを検討することが大事であると理解できました。(資料については、資料室にアップします！)



2 ワークショップ：「新学習指導要領を踏まえた単元構造図の検討」

8グループに分かれて、それぞれのグループで領域と対象学年を決め、新学習指導要領の趣旨や内容等を考慮しながら、単元構造図を作成しました。三つの資質・能力の育成に向け、指導内容を確認し、「何を教えるのか」、「どのように教える」とよいのか、「いつ、どのように評価するのか」、意見交流しながら、単元構造図を完成させました。この会に参加してくださった方の多くが、小学校の先生方であったため、小学校の内容で、単元構造図を作成しました。新学習指導要領の解説には、例示が増えていることから、何がコアとなる指導内容なのかについての洗い出しを行った上で、指導内容や学習過程の検討を行ったため、作成に苦慮する場面もありました。しかし、意見をざっくばらんに出し合いながら、協働的に作業することで、「新たな視点に気付くことができました。」「これから求められる授業づくりの在り方について考えるよい機会になりました。これぞ、主体的・対話的で深い学びです！」などの感想がありました。



終わりに

この度は、若手の元気な先生方、そして、これまで体育の研究を熱心に進めて来られているベテランの先生方と、幅広い年代の方にお集まりいただき、通常の研修会にはない充実した実り多い会となったと感謝しております。忙しい中お集まりいただきました皆様、ありがとうございました。また、会場を提供していただきました徳永先生に感謝申し上げます。(まるでショッピングモールのようなとっても素敵な施設です！)



【報告：清田】

